

JGSDF News Release

<http://www.mod.go.jp/gsdf/news/press/>
(お知らせ)



令和4年5月31日
陸上幕僚監部

令和4年度多国間訓練（カーン・クエスト22）への参加の概要について

陸上自衛隊は、国際社会の平和と安定に寄与するべく、以下のとおり令和4年度多国間訓練（カーン・クエスト22）に参加します。

1 目的

モンゴル及び米国が共催する多国間訓練（カーン・クエスト22）に参加して、陸自の国連平和維持活動等への派遣に資する各種能力の維持・向上、ノウハウの獲得・蓄積及び参加各国軍との相互理解の促進・信頼関係の強化を図る。

2 期間

令和4年6月6日（月）～同年6月20日（月）

3 場所

モンゴル国

4 訓練参加予定国（16か国）

オーストラリア、バングラデシュ、カナダ、フランス、ドイツ、インド、日本、マレーシア、モンゴル、ネパール、カタール、韓国、シンガポール、トルコ、東ティモール及び米国（アルファベット順に記載）

5 陸自訓練参加部隊等

(1) 担任官

陸上総隊司令官	陸 将	まえ	だ	ただ	お
北部方面総監	陸 将	おき	むら	よし	ひこ
		沖	邑	佳	彦

(2) 実施部隊

陸上総隊司令部、中央即応連隊、国際活動教育隊及び第18普通科連隊

6 特色

- (1) 幅広いPKO任務について、16か国の参加国との交流により、各国の識能、課題等を共有し、任務遂行に必要な教訓を獲得
- (2) 指揮所訓練においては、11か国、約200名が参加することにより、PKO司令部の実態に即した環境下における多国間による幕僚活動を演練
- (3) 実動訓練においては、10か国、約900名が参加し、かつ、モンゴルの広大な訓練施設を活用することにより、大規模・実地的な訓練環境下でPKOに係る各種行動を演練。また、指導部として参加することにより、指導能力を向上

7 新型コロナウイルス感染症対策

- (1) 本訓練に参加する隊員は、防衛省・自衛隊が定める方針に基づき必要な感染症対策を講じるとともに、3回目のワクチンを接種した隊員が参加
- (2) 隊員は、出国に際しては、各駐屯地出発前にPCR検査を受検し、陰性の者のみ訓練に参加。また、帰国に際しては、モンゴル出国前及び日本到着後にPCR検査を受検するとともに、検疫所の指示に従い、必要な措置を実施
- (3) 新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる隊員が発生した場合は、PCR検査の受検、濃厚接触者と疑われる者を特定・隔離する等、感染拡大を防止